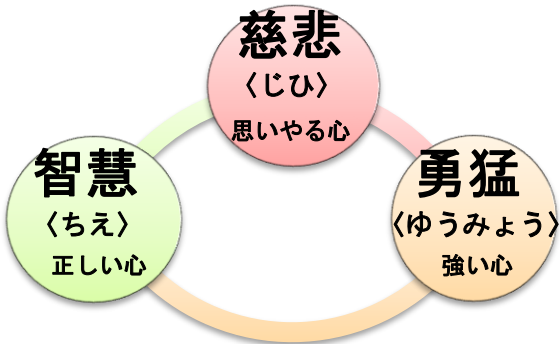


下野三楽園養育3つの柱

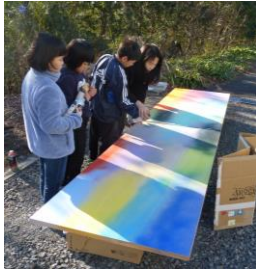


さんらくえん通信

発行責任者：鈴木常元 編集責任者：藤原崇夫
編集：下野三楽園編集委員会 第37号

壁画制作

昨年、陶芸教室を開催して頂いた林香君先生と壁画制作に取り組みました。
物語「セロ弾きゴーシュ」の世界を表現するため、様々なアイデアを出し合い、力を合わせて作り上げました。
そして、完成作品は栃木県子ども総合科学館で行われた「水を通して命や自然の大切さを考えるプロジェクト ざぶん展」で特別展示され、制作に関わったメンバーで観に行きました。



「一切衆生悉有仏性」と「五性格別」

前々回「天台宗一隅を照らす運動の三つの柱」で紹介した「草木国土そうもくこくと悉皆成仏しつがいじょうぶつ」は、一般的に「一切衆生悉有仏性」と言われます。天台宗では「みな生きとし生けるものは悪人でも善人でも、その素質や才能に関係なく、悟りを開くことができるのだ」と説きます。

かたや「いやいや、そんなことはない。悟れるもの、悟れないものは先天的に決まっているのだ」という「五性格別」を主張する宗派も一方であります。

例えばこの話をプロスポーツ界に限定すれば「五性格別」かもしれない。スポーツ界では、素晴らしい才能を持つ者のみがプロ選手になります。これは先天的才能を認めざるを得ません。

しかしながら「仏」の才能はどうでしょう？萎れそうな花をみて可哀そうと感じ、水をあげたくなるのは才能でしょうか？前を歩く人がハンカチを落とした時、拾ってあげるのは才能でしょうか？違いますよね、これは「慈悲」の心であり、誰もが持っているものなのです。

「慈悲」さえあればその人は「仏」になれるはず。これは才能ではなく皆さん一人一人が必ず心の中に持つ「仏」の証なのだ、天台宗僧侶である私は考えています。

日光山 輪王寺 菅原道信

文化祭

2月3日、今年も高根沢町民ホールで栃木県内の児童福祉施設が一堂に会する文化祭が催され、三楽園は太鼓演奏を披露しました。今回は小学生を中心とした天平太鼓、選抜メンバーでタイオンと男体おろし太鼓を演奏しました。



卒園生を送る会

三月十日、今年是一名の卒園生を見送りました。3才からの15年間、多くの職員に見守られ成長してきました。4月から新しい環境で元気にがんばってほしいです。



“卒園生を送る会”各居室アトラクション



うどん祭り

篠井地区の美味しい水と生地で作られた名物しのいのうどんの魅力を堪能できるう

どん祭りで今年も太鼓を披露しました。



アストロさんらくえん

園長 藤原崇夫

さて、昨年四月からの三楽園勤務も一年が過ぎ、年間行事も一回りして仕事の流れもあらかた分かり、やっと一段落している昨今です。戸惑いながらあわただしく過ぎた一年でしたが、その間には念願だった子どもたちと星を見る機会を持つことができました。せっかくなので、勝手に『アストロさんらくえん』などと名前を付け、これが密かな楽しみになっています。

記念すべき第一回は七月三一日と八月一日の「火星大接近の観望会」で、このときの様子には「さんらくえん通信」三五号に詳しく書かせてもらいました。園としても初めての試みかと思いましたが、子どもたちにとって夜に本物の星を見るといイベントは、なかなか刺激的な体験だったようです。

二回目は十一月五日の「月面X」でした。これは上弦の月(夕方に見える半月)のとき、真横から月に当たった太陽の光で照らされた月面上のクレーターのへりが、アルファベットの「X」のように見えるものです。

幸いにお天気に恵まれ、子どもたちもしっかりと月面上の「X」を見届けることができました。



月面上に現れたXの文字

第三弾は十二月一四日に出現の最大を迎える「ふたご座流星群」でした。予報されたピークが午後九時という好条件に恵まれたものの、肝心のお天気が不順で、雲の間からわずか数個の流れ星が見られただけでした。流れ星の乱舞を期待した子どもたちには(そして自分自身にとっても)、いささか期待外れとなった夜でした。



ふたご座を流れる流星群の流れ星。雲間からやっととらえることができました。



そして四回目は、年が明けた一月六日に見られた「部分日食」でした。このときの様子も「さんらくえん通信」三六号に写真を載せていただきましたが、子どもたちにとって、いつもは丸い太陽が時間とともに欠けていく様子が不思議でならないようでした。

こうして昨年は四回も楽しませてもらいましたが、少しばかり残念なことに、二〇一九年にはあまり目立った天文現象もなく、流星群も条件が悪いものばかりです。そんな中にあっても、折を見て子どもたちと一緒に星を見る楽しさを共有していきたいなと思っています。

居室紹介



つばき居室は幼児から中学生までの元気で優しい女子6名で生活しています。様々な年齢の子がいますが、みんなでUNOゲームをして盛り上がりたり、たまにけんかもありますが、一人一人が思いやりの心をもっている居室です。毎日なにげないことで、みんなで笑い、お互いに元気をもらっています。たまに中学生の子がみんなにホットケーキを焼いてくれたり、みんなで集まってかわいい動物の出てくるテレビをみたり、和やかに過ごしています。

誰かがみんなのためにお菓子を作ったり、一緒に楽しく食べたり、共に過ごす年数を重ねていくにつれて、相手を大事にすることができるようになってきています。



ご支援及びご協力、誠にありがとうございました。

(H31.1.1~3.25 敬称略、順不同)

日光山輪王寺（日光市）/林香君（芳賀町）/砂川敏江（宇都宮市）/福田加代子（栃木市）/宇都宮マロニエライオンズクラブ（宇都宮市）/阿久津明子（宇都宮市）/高橋則子（宇都宮市）/半田志津江（宇都宮市）/川久保治美（宇都宮市）/小島博光（鹿沼市）/間屋口健次（宇都宮市）/栃木トヨペット（株）（宇都宮市）/獨協メディカル倶楽部（壬生町）/宗教法人 諸佛経行処（日光市）/栃木県天台仏教青年会（栃木市）/宇都宮マロニエライオンズクラブ（宇都宮市）/とちぎユースアフターケア事業協同組合（宇都宮市）

〒321-2105 宇都宮市下小池町 194
TEL : 028-669-2131 FAX : 028-669-2241
Email: shimotsuke-sanrakuen @nifty.com
http : //www.shimotsuke-sanrakuen.net

ご支援のお願い

本園では子どもたちの学習指導、交流、環境美化等様々なボランティアのご協力を求めています。皆さまやお知り合いの方々のご紹介等いただけましたら幸いです。よろしく願い致します。

園長 藤原 崇夫